

# 令和6年9月定例会 一般質問に登壇！

## ●地方創生について

(金ヶ崎議員)若年層の市外転出が増加している。地方創生の成果と取組で設定した数値目標・KPIの達成率を聞きたい。

(市部長)全てにおいて、目標体制は厳しくKPIは全体の5割弱の状況である。

(金ヶ崎議員)人口社会増について中心都市に近接しベッドタウンである本市はプラスアルファが必要。保育費、教育費、医療費などのサービス高度化や無償化が必要。来年度戦略に盛り込むように強く要望。

(松村市長)経済的支援や子育て・子育ち支援、教育環境の充実などこれまでの取組を深化・発展させ取り組んでいく。

## ●不登校対策について

(金ヶ崎議員)令和5年度の不登校児童数は373人で前年度より23人増加している。「不登校児童生徒自立支援教室(uji ふれあい教室)」など各種取組が実施され効果を上げている取組もある。その中、(ふれあい教室)の拠点や利用時間の拡充、民間フリースクールへの経済的支援策を要望する。

(教育部長) uji ふれあい教室は通いやすい場所や児童の活動に適した環境などについて検討を進めている。

フリースクールに通う児童に対する経済的支援策については、様々な状況に応じた支援に努めてまいりたい。

## ●要介護・要支援認定について

(金ヶ崎議員)後期高齢者の増加に伴い、実務を担う認定調査員の人員確保や業務軽減が必要不可欠である。標準認定期間は30日に決定であるが現状と原因を聞きたい。

(市部長)令和6年6月に、認定の申請があった日から30日を超えた割合は88.6パーセントであり、主治医の意見書作成に時間を要することなどがある。

(金ヶ崎議員)調査員の担当件数は一人あたり1日3件、概ね1ヶ月60件の訪問調査を行なっているとあるが、紙媒体調査票を作成。それを目視で内容チェックを行う業務が大変であると聞き及んでいる。

そこでタブレットで各種作成作業や調査の平準化、新人研修期間の短縮に繋がり調査員の負担軽減につながるメリットを提案して人員不足にも対応できると導入を要望。

(市部長)要介護認定の迅速化を図るために認定審査会委員のオンライン参加を可能にするなどICT化の取組を進めている。更なる効率化やサービス向上を目指す。

## ●踏切の安全対策について

(金ヶ崎議員)内閣府の「第11次交通安全基本計画」の「踏切道における交通安全」では踏切事故は鉄道事故の3割を占める。国は事故防止対策を推進し令和7年までに踏切事故件数を1割削減する目標である。本市では踏切の幅員が狭く段差が多く存在する踏切が多数存在する。高齢者や障害をお持ちの皆様が大変危険な状態である。そのような踏切は早急に鉄道会社と連携して改善するよう強く要望。

(市部長)宇治市としましては、踏切道の拡幅整備をはじめ、様々な踏切安全対策を、事業効果や踏切改良に必要な用地取得など検証し、鉄道会社と協議を行い取り組む。

## ●河川護岸の整備・管理について

(金ヶ崎議員)新田川・新田川(羽戸山地域最北端)。この河川の管理は宇治市である。河川法面などには草木が乱雑に生えている。衛生面でも近隣に害を及ぼしている。河川管理者として、どのように対処する必要がある。

(市部長)新田川・新田川は、10月までに草木の除去作業を実施する。引き続き、河川や排水路の適正な管理維持に努める。宇治市以外の隣接地においても、河川や排水路の管理で土地所有者に対して是正を指導していく。

(金ヶ崎議員)法面にモルタルを打設するなど抜本的な対策も併せて要望。

発行

ご相談やご要望はこちらまで

Eメールに hidedesu666@khh.biglobe.ne.jp まで

地元育ちの熱い力！

金ヶ崎秀明後援会

HP アドレス kyoto-ujj.com/kh/



〒611-0002  
宇治市木幡御蔵山45-4  
0120-635-052  
《文責・電話窓口》  
金ヶ崎伶奈（長女）